

## 平成28年度 アクティブ・スポーツ交流大会 報告書

2016. 10. 23 (日) 維新百年記念公園ラグビー・サッカー場

参加人数 96人

前日からの雨があがったものの、水気を含んだ芝生の上で、アクティブ・スポーツ交流大会を開催しました。昨年度までは、スポーツ少年団中心でしたが、今年度は、総合型地域スポーツクラブや一般にも参加を呼びかけ、ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）とスポーツ玉入れを体験しました。



開会行事では、中村本部長から、スポーツを楽しむことを大切にしてほしいとの話がありました。その後、参加団員の代表と一緒に、「スポーツ少年団団員綱領」を大きな声で唱和しました。

# ACP



ACPの指導は、今年度から発足した「女性指導者・リーダーの会」の皆さんに担当していただきました。

まずは、アイスブレイキングで、「体ジャンケン」や「言うこと一緒・やること一緒」などのアクティビティで、こころもからだもリラックス。



二つ目のACPは、「ボール運び」。3つのチームで、早くボールを3つ集めるだけでなく、他のチームが集めたボールをとってくるわくわく感も満載。まずは、女性指導者・リーダーの会が手本を見せて・・・。



フットワークが身につくだけでなく、チームの一体感も…ボール運びの醍醐味です。



3人で「フライングディスク」を指で支えて運ぶリレーをしました。身近にある物を使って、どんな遊びができるかを提案できたアクティビティになりました。



この他、マーカーの上にボールを置いたり、回収したりする「宅配便」や「木とリス」といったアクティビティを楽しむことができました。芝生がぬれていて、座ったり寝転んだりすることはできませんでしたが、女性指導者・リーダーの会のみなさんが、臨機応変にそれぞれの役割を果たして、様々な運動遊びを紹介していました。

# スポーツ玉入れ

スポーツ玉入れ（アジャタ）は、総合型地域スポーツクラブのみなさんが頻繁に行っているスポーツのひとつです。3つの部門で高さを変えてチャレンジしました。

まずは、「すげえっちゃ・高泊」のみなさんに、お手並みを披露していただきました。子どもたちは、5分以内に100個の玉を入れることができませんでしたが、達成感や仲間意識を体験できたようです。



## 記 録

### 一般の部 (4.12m)

- |            |       |
|------------|-------|
| ①すげえっちゃ・高泊 | 2分15秒 |
| ②チーム体協     | 2分29秒 |
| ③白水B       | 3分40秒 |

### ジュニアの部 (3.5m)

- |           |     |
|-----------|-----|
| ①桜木バドミントン | 95個 |
| ②菘明倫サッカー  | 94個 |
| ③白水       | 88個 |

### キッズの部 (2.8m)

- |           |     |
|-----------|-----|
| ①大歳ジュニア   | 70個 |
| ②桜木バドミントン | 65個 |
| ③平生剣道     | 51個 |

やまぐち総合スポーツ大会の一環として、スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブのみなさんの参加を得てアクティブ・スポーツ交流大会を開催しました。

日頃の活動に、ACPなどのような運動遊びを取り入れると、子どもは思わず夢中になってからだを動かすものです。地域の中には、からだを動かす機会が少ない子どもがきついているはずで、そのような子どもに、スポーツの楽しさや仲間と一緒に、からだを動かす爽快感などを味わえる場を提供することも、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの役割の一つだと思います。「スポーツで子どもたちの未来をつくろう」というスローガンの下、子どもたちの笑顔や一所懸命さに出会えることに喜びをもっておられる指導者や地域のみなさんの支援になれますよう、地域スポーツの活性化に取り組んでまいりたいと考えています。

山口県スポーツ少年団本部